

■ 進化を続ける国際都心、これからのアークヒルズ周辺エリア

アークヒルズエリアおよび周辺では、当社はじめ他の事業者も含めて様々な開発プロジェクトが進行中です。「アークヒルズ仙石山森タワー」の竣工を機に、住民や企業、他の事業者（デベロッパー）との連携をさらに深め、アジアのヘッドクォーターを目指す東京の真の国際都心形成に向けて、「アークヒルズ」が日本を代表する国際都心の代名詞となるように、「デベロップメント」と「エリアマネジメント」の両輪でエリア全体の魅力を高めてまいります。



アークヒルズ 仙石山森タワー

アークヒルズ

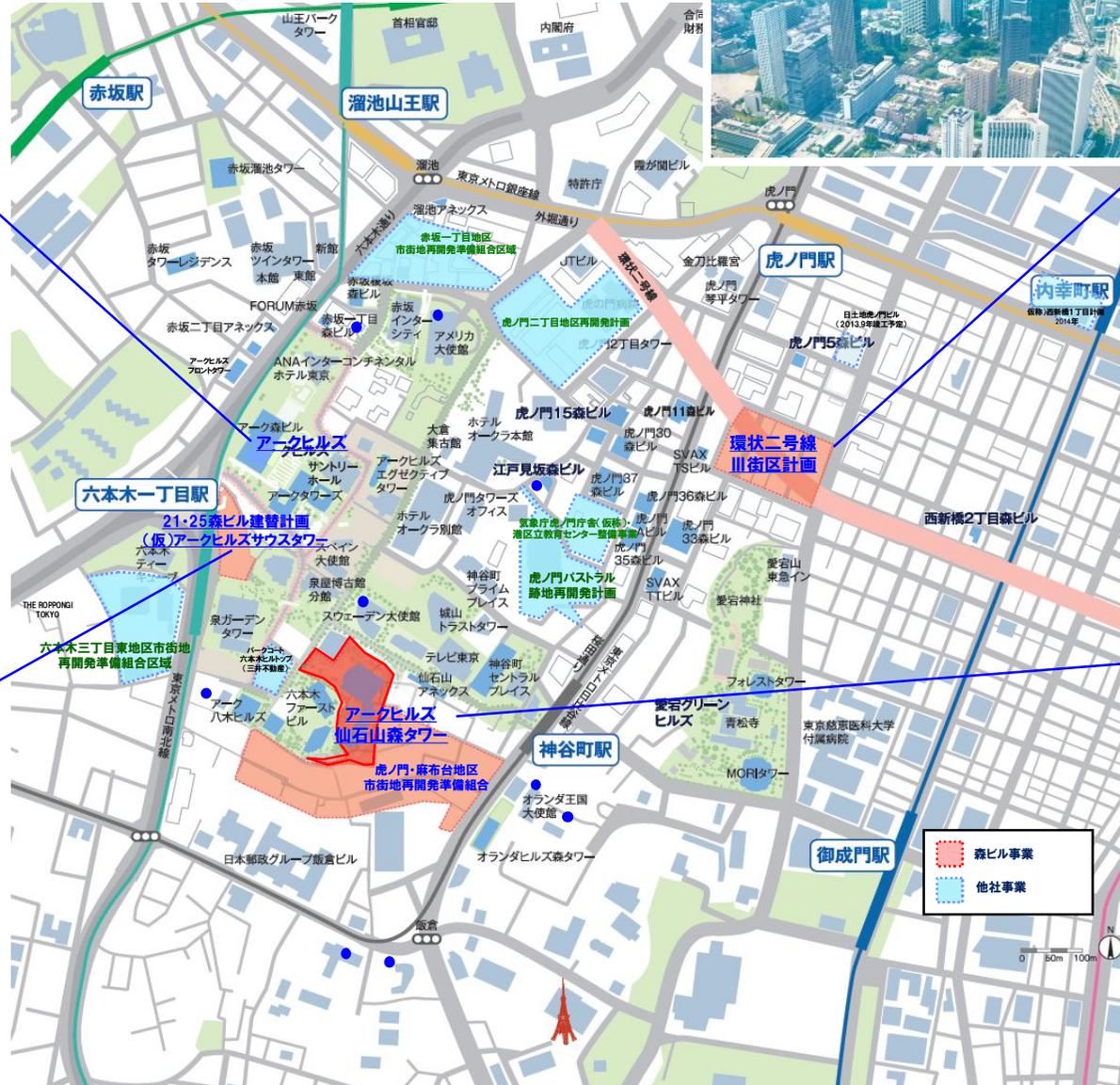


オフィス、住宅、ホテル、コンサートホールなどからなる、民間による日本初の大規模再開発事業であり、「職住近接」「都市と自然の共生」「文化発信」を具現化した「ヒルズ」の原点。開業当初から、オフィスへの外資系企業の集積や、先駆けとなった外国人向け賃貸住宅の提供等により、東京を代表する国際金融センターとなりました。

21・25森ビル建替計画 (仮)アークヒルズサウスタワー



六本木一丁目駅に直結した交通利便性の高い オフィス複合ビル。地下階には商業ゾーンを設け、新設される歩行者デッキや地下広場によって周辺施設が利用可能。また地上部にはアークヒルズの 桜並木と連続した緑地が広がり、屋上には都心最大級の規模を誇るルーファーガーデンを設けるなど、豊かなワークスタイルが実現できるビジネス拠点となります。(2013年完成予定)



環状二号線三街区計画



立体道路制度を活用し、地下の道路が超高層複合ビルを貫通する、交通インフラ一体となった大規模複合再開発事業。地上52階建となる超高層棟はオフィス、住宅、ホテル、店舗・カンファレンスを擁する複合施設で、東京を代表するシンボルストリートに建つ新たなランドマークになります。(2014年完成予定)

アークヒルズ 仙石山森タワー



オフィス、住宅、店舗が入る47階の超高層の複合棟(3~24階:住宅、25~47階:事務所)を中心に、敷地南側には地上8階の住宅棟を配置します。建物の周囲には、生物多様性に配慮した緑溢れる空間を整備します。(2012年8月竣工)